

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

平成30年1～3月期の景況 / 平成30年4～6月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、回復傾向から鈍化している

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2018年1～3月期の実績と2018年4～6月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から▲5.3%の悪化となった。業種別では、卸売業が▲16.6%から10.5%へ飛躍的に回復、小売業が▲5.3%から0%まで回復した。サービス業においては▲13.6%から▲19.2%、建設業は7.4%から▲7.4%へと悪化、製造業が6.2%から▲30%へと大幅に悪化するという結果になった。

来期の新規設備投資については、0.9%増加する見込みとなった。

経営上の問題点については、全業種において「従業員の確保難」が上位となり(建設業は7期連続)、前回に引き続き、人出不足感の強い結果となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

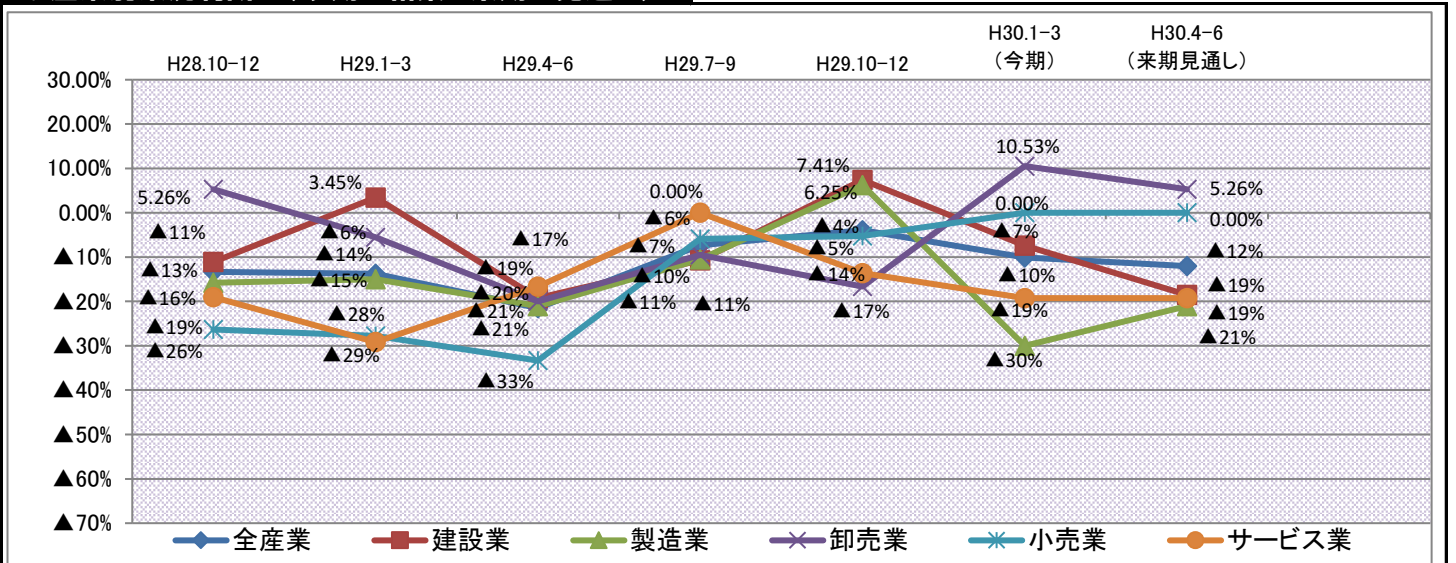
DATE

- 調査期間: 2018年2月26日～3月7日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業137社
- 有効回答企業数: 110社(80%)

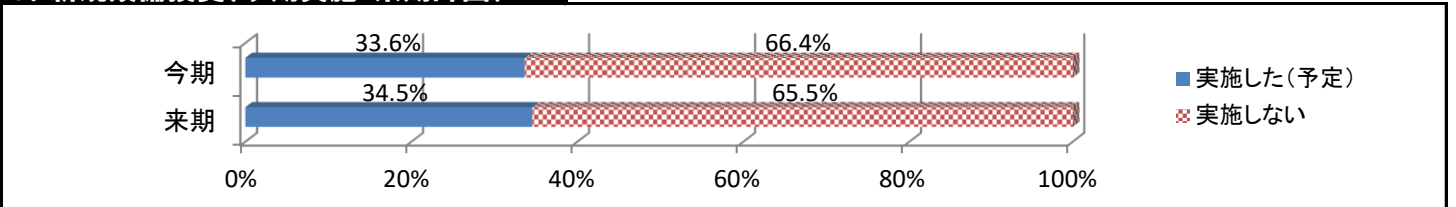
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲10.1%	▲6.2%	▲3.6%	4.06%	▲10.9%	▲6.1%	▲19.3%	▲2.8%	5.50%	0.65%
建設業	▲7.4%	▲14.8%	▲7.4%	▲7.4%	0.00%	▲3.7%	▲11.1%	▲11.1%	3.70%	▲7.4%
製造業	▲30.0%	▲36.3%	▲25.0%	▲19.4%	▲15.0%	▲9.4%	▲35.0%	3.89%	25.00%	8.33%
卸売業	10.53%	27.19%	26.32%	37.43%	▲10.5%	▲10.5%	5.26%	10.82%	5.26%	16.37%
小売業	0.00%	5.26%	0.00%	15.79%	▲11.8%	4.02%	▲17.6%	19.20%	6.25%	▲10.4%
サービス業	▲19.2%	▲5.6%	▲7.4%	1.68%	▲18.5%	▲9.0%	▲34.6%	▲25.1%	▲7.4%	1.68%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 25.0%	従業員の確保難 16.0%	従業員の確保難 17.8%	従業員の確保難 13.3%	従業員の確保難 18.6%
2位	熟練技術者の確保難 17.1%	原材料価格の上昇 16.0%	仕入単価の上昇 15.6%	仕入単価の上昇 13.3%	人件費の増加 11.4%
3位	下請業者の確保難 11.8%	需要の停滞 16.0%	需要の停滞 13.3%	消費者ニーズの変化への対応 13.3%	利用者ニーズの変化への対応 8.6%
4位	官公需要の停滞 9.2%	製品(加工)単価の低下・上昇難 14.0%	大企業の進出による競争の激化 8.9%	需要の停滞 11.1%	人件費以外の費用の増加 8.6%